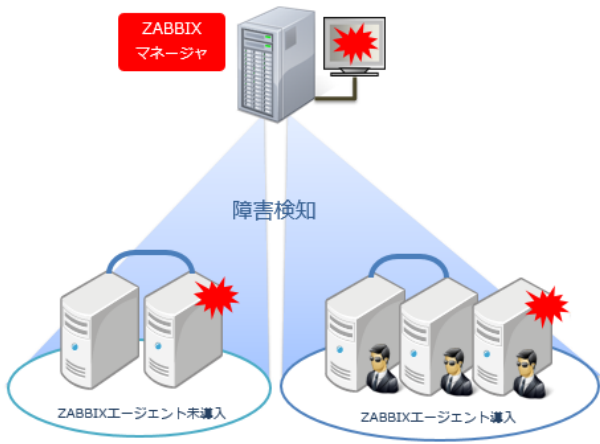


1. ZABBIXとは

ZABBIXとは、サーバ、ネットワーク、アプリケーションを集中監視するためのソフトウェアです。

◆ZABBIXシステム構成◆

ZABBIXマネージャから、ZABBIXエージェント導入・非導入サーバに対し各種監視を行います。障害発生をマネージャ上で確認することができ、障害を検知した統制センターのオペレータが対象システムの担当者へ障害連絡を行います。



可能な監視

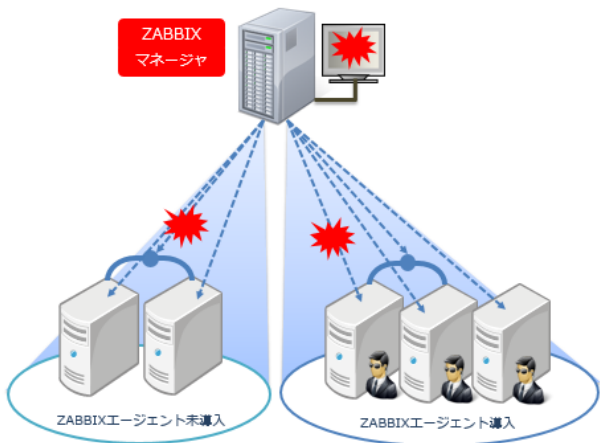
- i** ZABBIXエージェントを導入した場合
ping監視、プロセス監視、ログ監視、リソース監視、URL監視、SNMP監視
- i** ZABBIXエージェントを導入しない場合
ping監視、URL監視、SNMP監視

◆ZABBIX監視の仕組み◆

SBグループで行っている代表的な監視について説明します。
詳細については「[2-1. ZABBIXで可能な監視](#)」をご覧ください。

【ping監視】

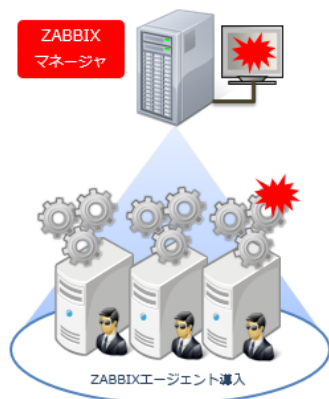
ZABBIXマネージャから監視対象サーバに対し、任意の間隔でICMP pingを発行しサーバダウンを検知する事ができます。



- i** 実IPアドレス、論理IPアドレスどちらでも監視可能です。
「○分間隔で監視」、「△回連続でダウンした場合発報」などの設定ができます。
※「○」「△」は自由に設定可能

【プロセス(サービス)監視】

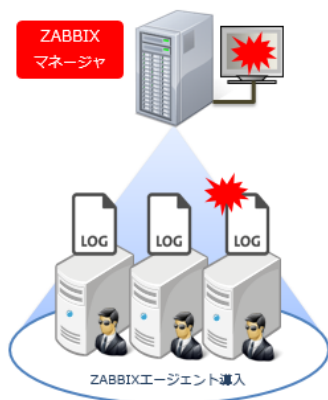
監視対象サーバー上の各プロセス(サービス)の稼働状況を監視することができます。



i 各プロセス(サービス)の稼働状況を監視することができます。

【ログ監視】

監視対象ファイルに書かれている任意の文字列を検知することができます。



i 監視対象ファイル内の任意の文字列を指定し検知することが可能です。

⚠ ログ監視における注意事項 ⚠

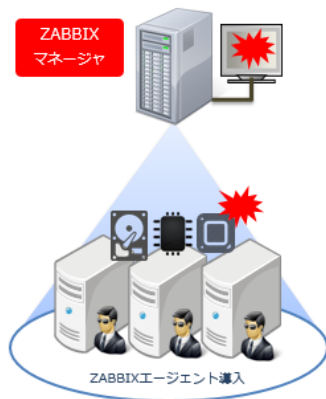
ログ監視は、1日1000行以上のログ出力、アラート発報がないようお願いします。
1000行以上のログ出力、アラート発報があると、マネージャの高負荷につながり、
他システムの監視に影響が出る場合があります。

断続的に出力されるエラーログを発報対象とする場合は、
依頼時に「監視周期ごとにXX件検出した場合に1回発報」のように
監視リスト備考欄に記載してください。

! 大量ログによりマネージャの高負荷が見られた場合は、その時点でログ監視を停止します。
※大量ログが解消された時点で監視を再開します。

【リソース監視】

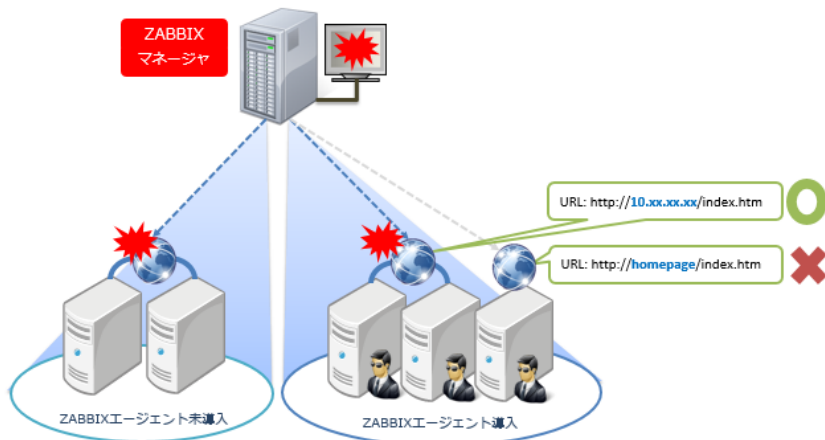
監視対象サーバ上の各種リソースの使用率を監視することができます。



i リソース監視では、監視間隔やしきい値を任意で設定することができます。

【URL監視】

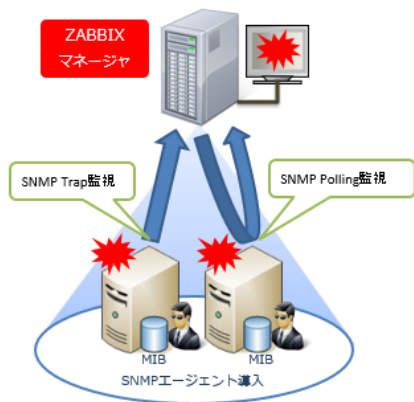
ZABBIXマネージャから監視対象URLに対し、任意の間隔で接続確認を行いURLへの接続不可を検知する事ができます。



i 監視はIPアドレスのみ可能です。(名前解決ができないため)
プライベートアドレスのみ監視可能となります。
「〇分間隔で監視」、「△回連続で失敗した場合発報」などの設定ができます。
※「〇」「△」は自由に設定可能

【SNMP監視】

SNMPエージェントがインストールされているサーバのMIB情報を、ZABBIXマネージャが監視する事により、監視対象サーバの異常を検知する事ができます。機器固有の情報も監視する事ができるため、きめ細かな監視を行う事ができます。



- i** SNMP監視は「Trap監視」と「Polling監視」の2種類です。

Trap監視 : 障害時にSNMPエージェントからZABBIXマネージャへ通知します。

Polling監視 : ZABBIXマネージャが定期的に状態を監視し、障害を検知します。
- i** 各種リソース、ポートの状態や機器固有の項目も監視することができます。
- i** Polling監視のみ、任意時間隔での監視が可能です。
- !** ZABBIX側ではMIB情報を持たないため、OID情報の提供が必須となります。